

2026

大学院  
医療科学研究科  
(修士課程)

令和8年度

# 学生募集要項

## 医療科学専攻

- 生体情報検査科学領域
- 医用量子科学領域
- 医用生体工学領域



藤田医科大学大学院医療科学研究科  
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES

## 目 次

概要(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)…	1
1. 募集人員と出願日程	3
2. 出願資格	3
3. 入学資格審査	4
4. 出願手続	5
5. 選抜方法	8
6. 試験日程及び試験会場・入試科目	8
7. 合格発表	9
8. 入学手続	9
9. 学費納入金	9
10. ティーチング・アシスタント制度	10
11. 奨学金等	10
12. 修了の要件	10
13. 長期履修学生制度	10
14. 昼夜開講による履修及び研究	11
15. 生体情報検査科学領域 遺伝カウンセリング分野	12
16. 医用量子科学領域 医学物理学分野	13
17. 授業科目と担当教員（2026年度予定）	14
18. 医療科学研究科修士課程における特別研究の内容（2026年度予定）	17
19. インターネット出願方法	27
20. 受験者注意事項	30
21. 入試に関する個人成績の開示について	31
22. 個人情報保護について	31
23. 試験会場地図	32
24. 交通案内	33

### アドミッション・ポリシー

医療科学研究科 医療科学専攻 修士課程においては、4年制大学を修了もしくはそれと同等以上の能力を有するものを対象に、次のような人材を受け入れる。

- (1) 生体情報検査科学、医用量子科学、医用生体工学を基盤として、医療科学分野に深い関心と情熱を持って自ら学び問題を探求するもの
- (2) 自分の研究テーマを深く理解し、新たな発見に向かって努力を怠らないもの
- (3) 医療科学の各領域における高度専門職や個々の患者に最適な医療を提供する良き医療人を目指すもの
- (4) 研究者として、医療科学の各領域の発展のためのグローバルな社会貢献を目指すもの

性、人種、宗教、性的指向、社会経済的地位、身体能力の如何によって、入学に関する優先性が影響されることはありません。  
- 禁煙への取り組み - 藤田医科大学では、人々の健康を守る医療職者を育成する大学として、入学者は喫煙しないことを約束できる方とします。

### カリキュラム・ポリシー

医療科学研究科 医療科学専攻 修士課程は、「生体情報検査科学」「医用量子科学」「医用生体工学」の3専門領域を設ける。それぞれの領域においてディプロマ・ポリシーに掲げる5つの力を修得させるために、以下に示した教育課程編成方針に基づきコースワークとリサーチワークを体系的に配置する。コースワークは、専門科目と共通科目からなり講義・演習などを適切に組み合わせ、専門知識や技術、実践能力の効果的な修得につながる授業を行う。リサーチワークは、特別研究によって、課題の設定・解決、研究推進、高度専門職に必要な能力の修得につながる研究活動を行う。

教育内容、教育方法、評価については以下のように定める。

#### (1) 教育内容

##### (1-1) 生体情報検査科学領域においては、以下のように科目を配置する。

- ・ 医療の変化に対応できる優れた検査科学者を育成し、研究者、指導者へと発展しうる人材を育成するために、「生体情報検査科学特論Ⅰ・Ⅱ」、「生体情報検査科学演習」、「生体情報検査科学特別研究」、「遺伝カウンセリング演習」、「遺伝カウンセリング実習」、「遺伝カウンセリング特別研究」、「生殖補助医療特論」、「生殖補助医療演習Ⅰ・Ⅱ」、「生殖補助医療特別研究」などを配置する。

##### (1-2) 医用量子科学領域においては、以下のように科目を配置する。

- ・ 急速に発展する技術に的確に対応でき、さらに高精度かつ安全な放射線医療の臨床応用の開発に貢献できる研究者、指導者へと発展しうる人材を育成するために、「医用量子科学特論」、「医用量子科学演習」、「医用量子科学特別研究」、「医学物理学特論」、「総合医理工学特論」、「医学物理学演習」、「医学物理学臨床実習」、「医学物理学特別研究」などを配置する。

##### (1-3) 医用生体工学領域においては、以下のように科目を配置する。

- ・ 技術革新を担う優れた医科学系研究者や工学系技術者を育成し、研究者、指導者として活躍できる人材を育成するために、「医用生体工学特論Ⅰ・Ⅱ」、「医用生体工学演習」、「医用生体工学特別研究」などを配置する。

(2) 教育方法

- ・高度専門職業人としての知識と技術、臨床判断力やマネジメント力を修得するために、少人数授業体制による双方向性の教育を実施する。
- ・課題に対する学生のプレゼンテーションや集団討論を取り入れたアクティブラーニングを促進する。
- ・研究遂行や、論文発表の際のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を修得するために指導教員がきめ細やかに研究指導や論文執筆・発表の指導を行う。
- ・最新の研究動向を理解するために、各領域の専門家による医療科学セミナーを開講する。

(3) 評価とフィードバック

- ・各科目のシラバスに記載された到達目標に基づき、学生の行ったプレゼンテーションや成果物に対して、教員の解説や改善案などのフィードバックを行う。
- ・年度毎に提出する研究指導計画書や研究実績報告書に基づき、担当学生の取り組みに対して指導教員がフィードバックを行う。
- ・修士論文審査や修士論文発表会において、研究遂行能力や倫理観、論理展開、論文執筆力、プレゼンテーション能力が身についているかを評価する。
- ・教育課程が有効に機能しているかを確認することを目的に、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3つのポリシーに基づく学位プログラムの成果を把握・評価し、教育の改善に役立てる。

### ディプロマ・ポリシー

医療科学研究科 医療科学専攻 修士課程にあっては所定の年限以上在籍して、教育の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験において、以下の能力を身につけていることを学位認定の基準とする。

(1) 課題を設定する力

- ・幅広い視野に立った学識を備え先行研究を深く理解し、医療・生命科学に関する課題を自ら考え設定できる力を身につけている。

(2) 連携する力

- ・産官学民連携・異分野連携なども行いながら問題解決できる力を身につけている。

(3) 研究を推進できる力

- ・将来の医療の進むべき独創的な研究を推進する力を身につけている。

(4) 職能を拡大できる力

- ・医療ニーズに基づいた研究を推進することでその知見を社会に還元し、職能を拡大できる力を身につけている。

(5) 高度専門職として活躍できる力

- ・個々の患者に最適な医療を提供する医療職、医療ニーズに基づいた研究開発を行う企業研究職、細胞検査士、医学物理士、臨床研究コーディネーター、遺伝カウンセラー、胚培養士、細胞培養士などの高度専門職として活躍できる力を身につけている。

# 藤田医科大学大学院医療科学研究科医療科学専攻（修士課程）

## 1. 募集人員と出願日程（社会人特別選抜、外国人特別選抜を含む）

専攻名	募集人員
医療科学専攻	25名

外国人特別選抜（英語コース）は秋季入学として募集します。詳細については、別途案内しています（大学院医療科学研究科入試係へ連絡してください）。

## 出願手続きから入学までの日程

事項	日程	
	第一次募集	第二次募集
入学資格認定申請期間 (入学資格審査の必要な者)	2025年7月28日(月) ～8月1日(金)	2026年1月13日(火) ～1月16日(金)
入学資格審査の結果発送	2025年8月8日(金)	2026年1月23日(金)
出願期間	2025年8月12日(火) ～8月22日(金)	2026年1月26日(月) ～2月6日(金)
試験日	2025年9月1日(月)	2026年2月16日(月)
合格者発表	2025年9月8日(月)	2026年2月24日(火)
学納金納付期限	2025年9月16日(火)	2026年3月2日(月)

(注1) 第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

## 2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより、当該国の16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを

含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者

（文部科学省HPの「文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧」をご参照下さい）

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

- (9) その他本研究科において、個別の資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

（注）1. 出願資格(3)から(9)により出願しようとする者は、出願手続き前に大学院医療科学研究科入試係へ連絡してください。

2. 出願資格(9)により出願を希望する者については、事前に入学資格審査を行います。

P.4 「3. 入学資格審査」参照。

3. 出願資格(3)、(4)、(5)、(6)、(9)のうち、外国人特別選抜（英語コース）については別途ご案内しています（大学院医療科学研究科入試係へ連絡してください）。

### 3. 入学資格審査

出願資格(9)により出願を希望する者は、入学資格審査が必要となります。必ず希望する特別研究の担当教員（P.17～P.26の特別研究の内容参照）と連絡を取ったうえで、下記要領により必要書類を受付期間内に持参又は郵送し、申請してください。

なお、本研究科所定の様式（A4サイズ）は、本研究科ホームページ（TOP > 学部・大学院 > 医療科学研究科（2024年度新設）> 入試情報）よりダウンロードしてください。

#### 1) 受付期間

	受付開始日	締切日	備考
第一次募集	2025年7月28日（月）	2025年8月1日（金）	郵送の場合も締切日必着のこと
第二次募集	2026年1月13日（火）	2026年1月16日（金）	

#### 2) 提出書類

- (1) 入学資格審査申請書（本研究科所定の様式〔A4サイズ〕に記入）  
(2) 履歴書（本研究科所定の様式〔A4サイズ〕に記入）  
(3) 卒業証明書（2025年4月以降に出身学校の所定用紙を用いて発行し、発行者が原則厳封したもの）  
(4) 成績証明書（2025年4月以降に出身学校の所定用紙を用いて発行し、発行者が原則厳封したもの）  
(5) 職歴にかかわる資格免許証の写し  
(6) 研究業績調書（本研究科所定の様式〔A4サイズ〕に記入、研究業績がない場合は不要）  
(7) 返信用封筒（宛名を明記した定形封筒〔サイズ120mm×235mm〕に切手760円分を貼付）  
速達簡易書留にて審査結果を返信します。

（注）1. 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。

2. 書類保存期間経過等により(3)または(4)が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください（様式任意）。

3. 書類を提出するにあたっては、市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に入れ、封筒のおもてに「入学資格審査申請書在中」と朱書きしてください。郵送による提出は、必ず「書留速達郵便」としてください（締切日必着）。

3) 入学資格審査のための書類の提出先・問い合わせ先  
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98  
藤田医科大学大学院 医療科学研究科 入試係（大学3号館1階）  
TEL (0562) 93-2504 FAX (0562) 93-4595  
土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29~1/3)は受け付けていません

#### 4) 審査結果の通知

審査結果は、郵送により本人宛に通知します。入学資格「有」と認められた者は、P.6～P.7「4) 提出書類」（成績証明書、卒業証明書を除く）を取りそろえ「1) 出願方法」（P.5）に従って提出してください。

〈第一次募集〉2025年8月8日（金）結果発送  
〈第二次募集〉2026年1月23日（金）結果発送

### 4. 出願手続

#### 1) 出願方法

- (1) 出願前に必ず希望する特別研究の担当教員（P.17～P.26の特別研究の内容参照）と連絡を取ってください。
- (2) 出願はインターネットで行います。P.27～P.29 「インターネット出願方法」の手順に従い、必要事項を入力、登録した後、入学検定料を「クレジットカード決済・コンビニエンスストア払い・ペイジー払い（銀行ATM）・インターネットバンキング」のいずれかにてお支払いください。
- (3) P.6～P.7「4) 提出書類」を市販の角形2号（240mm×332mm）の封筒に入れ、封筒のおもてに「インターネット出願ガイド」から印刷した宛名ラベルを貼ってください。
- (4) 出願期間内に大学院医療科学研究科入試係まで直接持参または郵送してください（締切日必着）。郵送の場合は必ず「書留速達郵便」としてください。
- (5) 「インターネットを利用した出願登録」「出願書類の提出」「入学検定料の支払い」が以下の期間内に完了していない場合は受験することができません。
- (6) 提出書類に虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

#### 2) 出願期間

	受付開始日	締切日	備考
第一次募集	2025年8月12日（火）	2025年8月22日（金）	郵送の場合も締切日必着のこと
第二次募集	2026年1月26日（月）	2026年2月6日（金）	

#### 3) 入学検定料 20,000円

- 申込情報のインターネット出願登録期間・入学検定料支払期間  
第一次募集 2025年8月12日（火）0時00分～2025年8月22日（金）16時59分  
第二次募集 2026年1月26日（月）0時00分～2026年2月6日（金）16時59分  
(注) 上記の登録期間・支払期間を過ぎると登録・支払いができません。

4) 提出書類

(1) 出願確認票	<p>本研究科ホームページ（TOP &gt; 学部・大学院 &gt; 医療科学研究科（2024年度新設）&gt; 入試情報）「インターネット出願ガイド」から必要項目を選択し、個人情報等を入力後、A4サイズの用紙に印刷してください。</p> <p>なお、「インターネット出願ガイド」の詳細についてはP.27～P.29「インターネット出願方法」を参照してください。</p>
(2) 成績証明書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者。 →出身大学（学部）長が作成し、原則厳封したもの</li> <li>2. 大学改革支援・学位授与機構（旧 大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与（見込）された者。 →学位授与に係る「基礎資格」及び「修得単位の審査」にかかる全修得単位の成績証明書（いずれも原則厳封したもの）</li> <li>3. 外国の大学その他外国の学校を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。 →成績証明書又は成績証明書の写し</li> <li>4. 文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。 →出身専修学校長が作成し、原則厳封したもの</li> <li>5. 短期大学、高等専門学校、専修学校を卒業した場合 →卒業した各学校の短期大学長、高等専門学校長、専修学校長が作成し、原則厳封したもの</li> </ol> <p>いずれの証明書も、2025年4月以降に発行したものとします。</p> <p>*また、上記1.～3.に該当する者で、短期大学、高等専門学校、専修学校を卒業している場合は、5.についても提出してください。</p>
(3) 卒業(見込)証明書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者。 →出身大学（学部）長が作成し、原則厳封したもの</li> <li>2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与（見込）された者。 →授与された場合：学位授与証明書 →授与される見込みの場合：学位授与申請受理証明書</li> <li>3. 外国の大学その他外国の学校を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。 →卒業証明書又は卒業証書の写し</li> <li>4. 文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者。 →出身専修学校長が作成し、原則厳封したもの</li> <li>5. 短期大学、高等専門学校、専修学校を卒業した場合 →卒業した各学校の短期大学長、高等専門学校長、専修学校長が作成し、原則厳封したもの</li> </ol> <p>いずれの証明書も、2025年4月以降に発行したものとします。</p> <p>*また、上記1.～3.に該当する者で、短期大学、高等専門学校、専修学校を卒業している場合は、5.についても提出してください。</p>

<p>(4) 外国語(英語)試験の免除を受けるための証明書類</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">免除申請者のみ</div>	<p>以下の資格試験に該当する場合、外国語（英語）試験を免除します。</p> <p>○資格試験名（条件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TOEIC L&amp;R (650点以上) ※IPテストは不可</li> </ul> <p>該当者は、公式認定証（QRコード付きデジタル公式認定証を印刷したものでも可）の原本を提出してください（公式認定証は証書と異なります。証明書等の発行は、当該資格試験の事務局に問い合わせてください）。</p> <p>書類の提出期限は出願期限と同じになりますので、あらかじめ書類を用意してください。書類が期限内に提出されない場合は免除申請は受理できません。</p> <p>○証明書類の有効期間は定めていません。</p> <p>○免除の可否については、試験日前日までに郵送にて通知します。</p> <p>○受理した証明書類については、いかなる理由があっても返還しません。</p>
(5) 入学資格審査結果通知書の写し	P.3～P.4「2.出願資格」(9)により出願する場合は提出してください。
(6) 在留カード、特別永住者証明書の写し	本邦に在留している外国人出願者は、「在留カード」もしくは「特別永住者証明書」の写し（両面カラー）を添付してください。 本学に在学中の者も改めて提出してください。
(7) 出願理由書	本研究科所定の様式（A4サイズ）を印刷し、自筆で記入してください。
(8) 就学承認書	在職したまま就学しようとする場合は、本研究科所定の就学承認書（A4サイズ）を印刷し、所属長の承認を得た上で提出してください。
(9) 出願書類 チェックリスト	確認欄にチェックのうえ、提出してください。

注1) 成績証明書等に記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。

注2) 書類保存期間経過等により(2)成績証明書または(3)卒業（見込）証明書が発行できない場合は、出身学校作成の「証明書を発行できない旨の理由書」を提出してください（様式任意）。

注3) (7)出願理由書、(8)就学承認書、(9)出願書類チェックリストは「インターネット出願ガイダンス」から印刷してください。

## 5) 願書受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

藤田医科大学大学院 医療科学研究所 入試係（大学3号館1階）

TEL (0562) 93-2504 FAX (0562) 93-4595

土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29～1/3)は受け付けていません

## 6) 受験票の印刷

【印刷開始日】〈第一次募集〉2025年8月27日（水）17時00分

〈第二次募集〉2026年2月12日（木）17時00分

受験票は、試験当日必ず持参してください。

●P.29「③受験票の印刷」の手順に従って印刷してください。

## 5. 選 抜 方 法

学力試験、面接及び口頭試問などの結果を総合して行います。

ただし、学力試験、面接及び口頭試問いずれかの評価が著しく低い場合は不合格とします。

### 1) 一般選抜

#### (1) 学力試験

外国語 英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）

専門科目（記述式）

#### (2) 面接及び口頭試問

個別面接

### 2) 社会人特別選抜

#### (1) 学力試験

外国語 英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）

小論文・専門科目（記述式）

#### (2) 面接及び口頭試問

個別面接

(注) 出願資格のある者で、臨床検査技師、保健師、助産師、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士のいずれかの免許・資格を有し、当該免許に関し、入学時で3年以上の実務経験を有する者は、社会人特別選抜による受験が可能です。

※1) 2) の選抜方法のうち、大学院学則第44条に基づく外国人学生の場合は、試験方法を一部考慮します。

(参考) 大学院学則の一部抜粋

(外国人学生の入学)

第44条 学長は、第16条に定める入学資格を有する外国人で、本大学院に入学を志願する者がある場合において、本大学院の教育、研究に支障のないときは、研究科委員会にて選考の上、入学を許可することができる。

2. 前項により入学を志願する者には、外務省在外公館、又は本邦所在の外国公館の推薦書を求めることができる。

3. 外国人学生の入学手続き、学費、その他必要事項に関する規程は、別に定める。

### 3) 外国人特別選抜（英語コース）

詳細については、別途ご案内しています（大学院医療科学研究科入試係へ連絡してください）。

## 6. 試験日程及び試験会場・入試科目

〈第一次募集〉 2025年9月1日（月） 集合時間 9時15分

〈第二次募集〉 2026年2月16日（月） 集合時間 9時15分

※外国語（英語）試験の免除通知があった方は、11時00分までに試験会場1階へお越しください。

試験会場：本学 大学3号館

試験時間	9:45～10:45	11:15～12:45	13:45～15:15
入試科目	英語	専門科目・小論文* *社会人特別選抜のみ	面接

## 7. 合格発表

〈第一次募集〉 2025年9月8日（月）13時頃

〈第二次募集〉 2026年2月24日（火）13時頃

本学大学2号館前の掲示板に掲示及び合格者に限り本人に郵送にて通知します。

合否についての問い合わせには一切応じません。

本学ホームページ (<https://www.fujita-hu.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。

ホームページへの掲載については、情報の正確性に万全を期していますが、データの改ざん、通信上のトラブル、システムの「誤作動」等が発生しても本学は一切の責任を負いません。これはあくまでも合否確認の補助的な手段であり、正式には本学における掲示発表をご確認ください。

携帯電話の専用画面は用意しておりません。

ホームページ掲載期間：〈第一次募集〉 合格発表日 15時～2025年9月10日（水）正午

〈第二次募集〉 合格発表日 15時～2026年2月26日（木）正午

ホームページの掲載は、システム上発表時間が多少前後することがありますので予めご了承ください。また、ホームページ掲載直後には、アクセスが集中し閲覧できないことがあります。その場合、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。

パソコンの設定によっては、最新情報が表示されない場合があります。このような場合にはブラウザの更新キーを押すなどして表示を最新のものとしてください。

## 8. 入学手続

- 1) 合格者は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って入学手続を完了してください。
- 2) 入学手続要領に示す期限までに入学手続を完了しなければ合格を無効とします。
- 3) 外国人学生の方は、抗体価シート（予防接種歴・罹患歴）の提出が必要となります。  
抗体値によっては、入学時期等に影響することがあります。

## 9. 学費納入金

1) 納入期限 〈第一次募集〉 2025年9月16日（火）\*

〈第二次募集〉 2026年3月2日（月）\* ※二段階納入方式の1次納入期限

2) 納入額・納入方式

①納入額

入 学 金	150,000円
授 業 料	(年) 750,000円
計	900,000円

②納入方式

二段階納入方式です。

学費納入金〈1次〉は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って納入期限までに納入してください。また、残りの学費納入金〈2次〉は、振込用紙が3月中旬に発送されるので納入期限（3月末日）までに納入してください。〈1次〉〈2次〉共に期限までに納入を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

振込用紙の発送日	学納金納入期限〈1次〉	学納金納入期限〈2次〉
	合格発表日	3月中旬
	525,000円	標準履修の場合：375,000円
納入額	内訳) 入学金 150,000円 学納金 375,000円 [学納金の1/2]	内訳) 学納金 375,000円 [学納金の1/2]
		※長期履修学生制度及び授業料減免制度申請者は、申請が許可されたのち、その決定額に応じた残額の納入となります。
納入期限	上記1)に記載	3月末日

○一旦納入した学費は一切返還しません。ただし、入学手続きを完了した者で、2026年3月31日

(火) 17時00分（必着）までに入学辞退届（任意作成）を提出し、入学時納付金の返還を申し出た場合には、入学金を除く授業料を返還します。  
○学費納入金は、社会情勢によって次の年度に進むとき、変更することがあります。

### 3) 授業料減免制度について

指導教員の下で自らの実習または研究に専念しており、かつ常勤の雇用契約を締結していない学生に対して、授業料を減免する制度を設けています。

授業料の減免を申請し許可された場合には、年額750,000円の授業料を年額200,000円減額し、年額550,000円とします。

## 10. ティーチング・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の教育業務を補助することにより学部における教育効果を高めることと、大学院学生に教育指導の機会を与え後継者の育成を図るとともに奨学に資することを目的として、ティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。

T・Aの手当は、授業時間1時間当たり2,000円とし、1コマを1.5時間として算定します。ただし、支給対象時間は、授業の前後に行う準備や片付け等に要した時間を除く授業時間とします。また、T・Aの担当時間は年間180時間（120コマ）を上限とします。

## 11. 奨 学 金 等

- 1) 日本学生支援機構：第一種奨学金、第二種奨学金、授業料後払い制度
- 2) 学校法人藤田学園奨学金、学校法人藤田学園同窓会奨学金など

## 12. 修了の要件

以下の1)～2)をすべて満たすことを修了要件とします。

1) 修士課程に2年以上在学し、生体情報検査科学領域の学生は、共通科目またはその他の分野の特論から8単位以上（ただし、共通科目は4単位以上）、専攻した分野から22単位以上、合計30単位以上を修得する。遺伝カウンセリング分野の学生は共通科目から10単位以上、専攻した分野から29単位、合計39単位以上を修得する。生殖補助医療分野の学生は共通科目から12単位以上、専攻した分野から20単位、その他の分野の特論から2単位、合計34単位以上を修得する。

医用量子科学領域の学生は、共通科目またはその他の分野の特論から8単位以上（ただし、共通科目は2単位以上）、専攻した分野から22単位以上、合計30単位以上を修得する。医学物理学分野の学生は共通科目またはその他の分野の特論から14単位以上（ただし、共通科目は2単位以上）、専攻した分野から16単位以上、合計30単位以上を修得する。

医用生体工学領域の学生は、共通科目またはその他の分野の特論から8単位以上（ただし、共通科目は2単位以上）、専攻した分野から22単位以上、合計30単位以上を修得する。

2) 修士論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格すること。

## 13. 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有している等の諸事情により、大学院の教育課程を標準修業年限（2年）で履修することが困難な場合、標準修業年限を越えて3年又は4年で修学することを認める制度です。

学費については、標準修業年限分の授業料を長期履修期間で除した額が年額となります。

## 14. 昼夜開講による履修及び研究

社会に開かれた大学院教育の実現と社会人に対する再教育への要望から、本研究科では医療科学の各領域における高度な知識や技術・研究能力・臨床能力を修得する機会を与えることを目的として、昼夜開講制を採用しています。

昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に地域医療に携わっている社会人が大学院の授業・研究指導を受け易くするための制度です。

社会人による入学者を対象に、従来までの第1～5限の他に、第6限（18：00～19：30）、第7限（19：40～21：10）に授業を行うとともに、必要により土曜日、夏季休業期間の集中授業を設定することで便宜を図っています。

2025年度 共通科目 時間割（参考資料）

(前期)

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1 (9：00～10：30)						
2 (10：40～12：10)		免疫学概論				
3 (13：00～14：30)		生命倫理学				
4 (14：40～16：10)						
5 (16：20～17：50)						
6 (18：00～19：30)	医療ロボット工学	生体情報検査科学 セミナー 放射線衛生学		分子遺伝学特論 磁気共鳴画像解析学 アントレプレナーシップ 概論		
7 (19：40～21：10)				アントレプレナーシップ 概論		

■ 夜間講座

(後期)

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1 (9：00～10：30)						
2 (10：40～12：10)						
3 (13：00～14：30)						
4 (14：40～16：10)			放射線基礎医学	環境・病態生理学		
5 (16：20～17：50)			放射線情報処理学			
6 (18：00～19：30)	臨床遺伝学 医療ロボット工学	免疫学概論 コンサルテーション論	臨床医工学	医療情報処理学 生体情報工学		
7 (19：40～21：10)						

■ 夜間講座

## 15. 生体情報検査科学領域 遺伝カウンセリング分野

本分野は、認定遺伝カウンセラー制度委員会（以下、委員会）より2014年4月1日付で認定大学院遺伝カウンセラー養成課程（以下、認定養成課程）としての認定を受けています。当該分野を修了した場合、認定遺伝カウンセラーの受験資格を得ることができます。また、認定養成課程の中に「がん遺伝カウンセリングコース」も開設しており、選択することができます。

### 認定遺伝カウンセラーについて

- 1) 遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制等を含むさまざまな情報提供を行い、心理的、社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援する保健医療・専門職です。
- 2) 医療技術を提供したり、研究を行う立場とは一線を画し、独立した立場からクライエントを援助することが求められます。
- 3) 遺伝カウンセリングについて一定の実地修練を積んだ後に資格認定される専門職で、下記の要件を満たす必要があります。
  - ・最新の遺伝医学の知識を持つ
  - ・専門的なカウンセリング技術を身につけている
  - ・倫理的・法的・社会的課題に対応できる
  - ・主治医や他の診療部門との協力関係（チーム）を構成・維持できる
- 4) 認定遺伝カウンセラーとなりうる基盤の職種としては臨床検査技師、看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、医療事務職、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、社会福祉士などの医療関係専門職スタッフ、また生物学・生化学などの遺伝医学研究者やその他の人文・社会福祉系などの専門職者などが考えられます。  
(認定遺伝カウンセラー制度委員会ホームページより改編)
- 5) 認定遺伝カウンセラーの認定を受けるには、委員会が認定する認定養成課程を卒業し修士の学位を持った上で、委員会が実施する認定試験を受験し合格しなければなりません。  
(詳細は委員会ホームページ参照)

### — がん遺伝カウンセリングコースについて —

2024年度より、文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」の実践機関となり、認定養成課程の中に「がん遺伝カウンセリングコース」を開設しています。

#### ①指導体制

本コースでは、認定遺伝カウンセラー養成カリキュラムの基本的な遺伝学の知識やカウンセリング技術の習得に加え、臨床腫瘍学や遺伝性腫瘍の知識及び実践の場での教育を強化し、がん医療に習熟した認定遺伝カウンセラーを養成します。

#### ②学位授与と修了要件

がん遺伝カウンセリングコースでは、正規課程において、共通科目10単位、遺伝カウンセリング分野科目から29単位の計39単位、加えてがんプロフェッショナルセミナー15回、がん遺伝子パネル検査実習15回の履修により、修士の学位及びがんプロフェッショナルコース修了証が授与されます。

#### ③出願方法

コース希望者は、大学院医療科学研究科修士課程入学試験に出願してください。

インターネット出願での登録時に「試験情報の選択」画面で「試験区分」、「選抜方法」、「領域」、「分野」を選択し、「がんプロコース」で「がん遺伝カウンセリングコース」を選択して、出願手続きを完了してください。

なお、出願に先立ち、研究指導を希望する分野教授に修学方法等を必ずご相談ください。

#### 遺伝カウンセリング分野選択の場合の必修授業科目と単位数

		授業科目の名称	単位数		時間数	備考
			必修	選択		
共通科目		医療科学セミナー	2		30	
		生命倫理学	2		30	
		臨床遺伝学	2		30	
		コンサルテーション論	2		30	
		分子遺伝学特論	2		30	
生体情報検査科学領域	遺伝カウンセリング分野	基礎人類遺伝学	2		30	
		基礎人類遺伝学演習	2		60	
		臨床遺伝学演習	2		60	
		遺伝関連情報・情報検索方法演習	1		30	
		遺伝医療と社会	2		30	
		遺伝医療と倫理演習	1		30	
		遺伝カウンセリング	1		15	
		遺伝カウンセリング演習	2		60	
		遺伝カウンセリング実習	6		180	
		遺伝カウンセリング特別研究	10		300	

#### 16. 医用量子科学領域 医学物理学分野

医学物理学は、理工学的な側面から医療に貢献するための基礎物理学と医学を基盤とし、その知識・成果を医学に応用・活用する学術分野です。当分野では主に放射線計測、治療物理学を軸として、総合的に医学物理学を学び、関連の研究を進めることができます。近年では医学物理学の専門家として医学物理士が活躍しており、社会のニーズも高まっています。

本学当領域の医学物理学分野は2019年4月より医学物理教育コースに認定されています。大学院修了までに医学物理士に必要な授業科目の単位取得ができれば、医学物理士の受験資格を得ることができます。

## 17. 授業科目と担当教員（2026年度予定）

### 1) 医療科学研究科 医療科学専攻（修士課程） 共通科目

領域	授業科目の名称	単位数	担当教員
共 通 科 目	医療科学セミナー	2	小林 茂樹
	アントレプレナーシップ概論	2	村川 修一 瀬戸 孝一 小清水久嗣
	生命倫理学	2	佐藤 労
	免疫学概論	2	成瀬 寛之 竹松 弘 松浦 秀哲 内藤 裕子 東本 祐紀 今村 誠司 手塚 裕之
	医療情報処理学	2	亀井 哲也 鈴木 康司 林 直樹
	臨床遺伝学	2	大江 瑞恵 西澤 春紀 山本 康子 稻垣 秀人
	生体情報検査科学セミナー	2	鈴木 康司 市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 毛利 彰宏 塩竈 和也 藤垣 英嗣 杉本 恵子 大江 瑞恵 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 前田 圭介

領域	授業科目の名称	単位数	担当教員
共 通 科 目	分子遺伝学特論	2	大江 瑞恵 竹松 弘 稻垣 秀人 水谷 謙明
	コンサルテーション論	2	伊藤 桜子
	生体情報工学	2	梅沢 栄三 服部 秀計 平野 陽豊
	放射線情報処理学	2	白川 誠士
	放射線基礎医学	2	小林 茂樹 服部 秀計
	放射線衛生学	2	浅田 恭生 横山 須美
	磁気共鳴画像解析学	2	高津 安男 椎葉 拓郎
	環境・病態生理学	2	鈴木 康司 杉本 恵子 亀井 哲也 藤垣 英嗣 坂口 英林 國澤 和生
	臨床医工学	2	堀 秀生 北本 憲永 井平 勝 大橋 篤 川口 和紀
	医療ロボット工学	2	伊藤 弘康 藤垣 英嗣

### 2) 医療科学研究科 医療科学専攻（修士課程） 生体情報検査科学領域

領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員
生 体 情 報 檢 查 科 學 領 域	生 體 情 報 檢 查 科 學 分 野	生体情報検査科学特論 I	2	市野 直浩 成瀬 寛之 塩竈 和也 杉本 恵子 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 坂口 英林 東本 瑞恵 今村 誠司 前田 圭介

領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員
生 体 情 報 檢 查 科 學 領 域	生 體 情 報 檢 查 科 學 分 野	生体情報検査科学特論 II	2	竹松 弘 鈴木 康司 毛利 彰宏 山本 直樹 山本 康子 國澤 和生 内藤 裕子
		疾患モデル科学特論	2	長尾 静子 吉村 文 釘田 雅則

領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員	領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員
生体情報検査科学領域	生体情報検査科学分野	先端医療開発論	2	毛利 彰宏 國澤 和生 千原 猛 守屋 友加 有岡 祐子 櫻井 浩平	生体情報検査科学領域	遺伝カウンセリング分野	基礎人類遺伝学	2	大江 瑞恵 中島 葉子
		臨床研究・治験概論	2	毛利 彰宏 古関 竹直 上杉 啓子 七ツ村めぐみ 佐々木靖之 寺町真由美 脇之園真理			基礎人類遺伝学演習	2	大江 瑞恵 塙竈 和也 稻垣 秀人
		臨床研究コーディネート実習	2	毛利 彰宏 古関 竹直 上杉 啓子 七ツ村めぐみ 寺町真由美 脇之園真理 中井 剛 大原健太郎			臨床遺伝学演習	2	大江 瑞恵 河田 健司 石原 尚子 帽田 仁子 宮田 昌史 田中真己人 松岡 宏 市川 亮子 湊口 俊 富家 由美 鈴木 孝典 矢上 晶子 谷川 篤宏 水野 誠司
		生体情報検査科学演習	6	市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝関連情報・情報検索方法演習	1	稻垣 秀人
	生体情報検査科学特別研究	生体情報検査科学演習	6	市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝医療と社会	2	藤江里衣子
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝医療と倫理演習	1	佐藤 労
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝カウンセリング	1	大江 瑞恵 西澤 春紀 石原 尚子 水野 誠司 植野さやか
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝カウンセリング演習	2	大江 瑞恵 藤江里衣子
		生殖補助医療分野	12	市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝カウンセリング実習	6	大江 瑞恵 西澤 春紀 石原 尚子 宮村 浩徳
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			遺伝カウンセリング特別研究	10	大江 瑞恵
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			生殖補助医療特論	2	西尾 永司 長尾 静子 山本 康子 吉村 文 小林 達也 釘田 雅則 浅野有希子
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			生殖補助医療演習I	4	長尾 静子 吉村 文 小林 達也 釘田 雅則
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			生殖補助医療演習II	4	西尾 永司 長尾 静子 小林 達也 及川 彰太
				市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀			生殖補助医療特別研究	10	西尾 永司 小林 達也

### 3) 医療科学研究科 医療科学専攻（修士課程） 医用量子科学領域

領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員	領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員
医用量子科学領域	医用量子科学分野	医用量子科学特論	4	小林 茂樹 南 一幸 高津 安男 笠井 聰 白川 誠士 椎葉 拓郎 小林 正尚 武藤 晃一 横山 須美	医学物理学分野	医学物理学特論	2	浅田 恭生 林 直樹 松原 礼明 國友 博史 清水 秀年 安井 啓祐	
		医用量子科学演習	6	小林 茂樹 南 一幸 高津 安男 笠井 聰 白川 誠士 椎葉 拓郎 武藤 晃一 小林 正尚					
		医用量子科学特別研究	12	小林 茂樹 南 一幸 高津 安男 笠井 聰 白川 誠士 椎葉 拓郎 武藤 晃一 小林 正尚		医学物理学演習	4	浅田 恭生 林 直樹 松原 礼明 國友 博史 清水 秀年 安井 啓祐	
					医学物理学臨床実習	4	林 清水 安井 啓祐 林 齊藤 齊藤 泰紀		
					医学物理学特別研究	10	浅田 恭生 林 直樹 松原 礼明 國友 博史 清水 秀年 安井 啓祐		

### 4) 医療科学研究科 医療科学専攻（修士課程） 医用生体工学領域

領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員	領域	分野	授業科目の名称	単位数	担当教員
医用生体工学領域	医用生体工学分野	医用生体工学特論Ⅰ	2	堀 秀生 北本 憲永 井平 勝 大橋 篤 川口 和紀	医用生体工学分野	医用生体工学特別研究	12	伊藤 弘康 三浦 康生 藤垣 英嗣 堀 秀生 北本 憲永 井平 勝 梅沢 栄三 服部 秀計 水谷 謙明 大橋 篤 平野 陽豊	
		医用生体工学特論Ⅱ	2	伊藤 弘康 三浦 康生 藤垣 英嗣 梅沢 栄三 服部 秀計 水谷 謙明 平野 陽豊					
		医用生体工学演習	6	伊藤 弘康 三浦 康生 藤垣 英嗣 堀 秀生 北本 憲永 井平 勝 梅沢 栄三 服部 秀計 水谷 謙明 大橋 篤 平野 陽豊					

## 18. 医療科学研究科における特別研究の内容（2026年度予定）

\* 予定であり、変更の可能性があります。

### 1) 生体情報検査科学領域

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
生体情報検査科学分野	<b>生体情報検査科学特別研究</b> 市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塩竈 和也 和知野 純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀	<p>(概要) 生体情報検査科学特別研究では、各研究テーマの内容が記載されており、その内容を把握して、研究を行うための、基礎知識と研究方法を確立する。さらに、自ら研究計画を立案し、実施できる能力を身に付ける。</p> <p>(市野 直浩)</p> <p>現在の超音波検査では、組織の「硬さ」を測定することが可能となった。その技術を応用し、疾患の早期発見・診断に寄与する研究を行う。具体的には、以下のテーマで研究指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. B型慢性肝炎における肝硬度を用いた発癌に対する有用な評価法に関する研究</li> <li>2. 動脈硬化発症前診断を可能にするバイオマーカーの開発に関する研究</li> </ol> <p>(竹松 弘)</p> <p>遺伝学手法を用いて、重要と思われる生命現象の分子生物学的な理解を目指す研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 抗体産生に関わるB細胞抗原受容体シグナル伝達を制御する共受容体の研究</li> <li>2. 体細胞分裂を制御する糖脂質の細胞周期研究</li> <li>3. ヒトに特徴的な免疫応答状態のマウスモデルを用いた解析</li> </ol> <p>(成瀬 寛之)</p> <p>臨床データおよびバイオマーカーを用いて様々な疾患の病態解明を行う。さらに得られた知見を臨床現場で応用することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バイオマーカーを用いた心疾患の病態解明に関する研究</li> <li>2. バイオマーカーを用いた急性腎障害の病態解明に関する研究</li> </ol> <p>(鈴木 康司)</p> <p>疾病発生のメカニズム解明に寄与し、疾病予防対策・治療方法の樹立に貢献することを目指し、医学・生物学領域における新しい技術を用いて疫学研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バイオマーカーを用いた生活習慣病予防に関する疫学的研究</li> <li>2. がんの発生要因に関する大規模コホート研究</li> </ol> <p>(毛利 彰宏)</p> <p>アルツハイマー病、パーキンソン病、うつ病、統合失調症、および自閉症などの精神神経疾患を対象に、血液をはじめとする臨床サンプルを用いた検討を行う。また、ヒトでの疫学的・遺伝学的知見をマウスに反映し、精神疾患モデルマウスを作製し、行動薬理的・神経化学的に病態・発症メカニズムの解析を行う。それら成果から新規治療薬・機能性食品および診断バイオマーカーの開発を目指し、研究成果を社会・医療に還元するランスレーションリサーチを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床サンプル・モデル動物を用いた精神神経疾患の病態解明</li> <li>2. 精神神経疾患モデル動物を用いた医薬品・機能性食品の開発</li> <li>3. 精神神経疾患バイオマーカーの探索と診断薬開発</li> </ol>

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
生体情報検査科学 特別研究	市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塩竈 和也 和知野 純一 杉本 恵子 山本 直樹 古閑 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀	<p>(塩竈 和也)</p> <p>さまざまな疾患の病理標本を用いた臨床研究を主軸とし、イメージング技術を駆使した網羅解析から病態解明を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>炎症性疾患における好中球細胞外トラップ (NETs) の役割とその意義</li> <li>好中球に着目したがんの発育・進展機序の解明</li> <li>各種プログラム細胞死からみた抗がん剤の効果判定</li> <li>FFPE切片を用いた組織透明化と三次元解析の技術開発</li> <li>FFPE切片を用いた膨張顕微鏡法の改良</li> </ol> <p>(和知野 純一)</p> <p>医療機関で分離された薬剤耐性菌を対象に、その薬剤耐性機構を分子・原子レベルであきらかにする。そして、得られた知見を基盤に、薬剤耐性菌感染症の克服に資する創薬研究、薬剤耐性菌検査法開発に関する研究を行う。また、環境中の薬剤耐性菌に関する分子疫学解析を実施し、その結果を環境中における薬剤耐性菌対策の情報基盤として活用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>次世代シーケンサーによる細菌ゲノム解析・X線結晶構造解析による薬剤耐性タンパク質の構造機能解析</li> <li>薬剤耐性タンパク質を標的とした機能阻害剤の開発研究</li> <li>環境中の薬剤耐性菌対策に資する分子疫学研究</li> </ol> <p>(杉本 恵子)</p> <p>心不全患者の増加や心疾患治療の進歩に伴い検査データの重要性や新たな指標の重要性が高まっている。本研究室では主に心エコーを用いた新たな解析方法や指標の臨床的有用性を検討している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>心臓超音波法による病態把握・予後予測のための心機能指標の探索</li> <li>情動ストレスによる心臓の電気的機械的变化の解析</li> </ol> <p>(山本 直樹)</p> <p>再生医療や創薬研究で用いるiPS細胞、組織幹細胞や遺伝子改変不死化細胞の新たな細胞株の作製、およびがん研究で用いる新たな臨床分離がん細胞株の作製やがん幹細胞の分離研究などを通じて、再生医療などの臨床や医学研究で役立つ細胞培養のプロフェッショナルとしての知識と技術を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>iPS細胞を用いた再生医療の基礎研究</li> <li>新たな遺伝子改変不死化細胞やiPS細胞の作製と検証に関する研究</li> <li>組織幹細胞およびがん幹細胞株の樹立に関する研究</li> <li>細胞培養士、臨床培養士の資格取得、細胞培養加工施設での演習など</li> </ol> <p>(古閑 竹直)</p> <p>前向き臨床試験の計画・実施・論文化を通して、臨床研究に必要なコーディネート能力やプロジェクトマネジメント能力の習得を目指す。併せて、以下のような医薬品に関する医療情報データベース研究や電子カルテ調査研究、臨床試験を通じて、臨床研究遂行能力及び研究的思考能力を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>副作用データベース等を活用して医薬品の副作用発現シグナル、薬物間相互作用シグナル、リスク因子、副作用発現の予防に有用な薬剤の探索</li> <li>上記1で得られた副作用発現シグナルや予防薬候補について、電子カルテデータを用いた追加評価、前向き臨床試験によるProof-of-Concept検証</li> </ol>

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
生体情報検査科学分野	<b>生体情報検査科学 特別研究</b> 市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塩竈 和也 和知野 純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀	<p>(石川 浩章) 血清中のmicroRNAに焦点を置き各種疾患における発症前バイオマーカーへの確立を目指して研究を行う。</p> <p>(刑部 恵介) 非侵襲的に検査を行うことができる超音波検査を用いて、消化器疾患に対する有用性について研究する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウィルス性肝疾患における肝線維化の非侵襲的・定量的評価法に関する研究</li> <li>2. 代謝異常関連肝疾患における肝線維化および減衰係数の定量的評価法に関する研究</li> <li>3. カラードプラや微細血流モードを用いた肝胆膵疾患の血流動態に関する研究</li> </ol> <p>(山本 康子) 疾患予備群を含む暦年的なデータベースサンプルを用いて、プロテオーム解析およびメタボローム解析を行う事で、先制医療の実現を可能とする診断薬マーカーの開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 分子生物学的手法を用いた生体機能分子解析</li> <li>2. アミノ酸代謝変容におけるメタボローム解析</li> <li>3. 動物モデルを用いた行動解析 一トリプトファン代謝の変容を中心として</li> </ol> <p>(星 雅人) 免疫細胞におけるトリプトファン代謝および糖代謝の役割を解明し、臨床応用を視野に入れた腫瘍を中心とした炎症性疾患に対する新規免疫療法の確立を目指す。また、国民病である慢性腎臓病の早期診断と予後予測を可能とするバイオマーカーの確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 免疫細胞におけるトリプトファン代謝および糖代謝の役割</li> <li>2. 慢性腎臓病における新規バイオマーカーの確立</li> <li>3. 各種炎症性疾患における希少糖の効果</li> </ol> <p>(松浦 秀哲) 輸血、移植医療において臨床的に重要な抗体産生の機序を解明し、制御する方法を確立することを目指す。また、臨床で実施される輸血・移植関連検査に関する研究を行い、標準化、質の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 抗赤血球抗体産生のメカニズムの研究</li> <li>2. 新規適合性検査(輸血、移植)の開発に関する研究</li> <li>3. HLAと疾患感受性に関する研究</li> </ol> <p>(國澤 和生) うつ病、多発性硬化症、統合失調症などの精神神経疾患を対象に、末梢免疫系や腸内細菌叢と中枢神経系との相互作用(末梢-中枢連関)に着目した病態解明研究を行う。臨床検体解析とモデル動物・細胞実験を組み合わせたトランスレーショナルリサーチを推進し、新規バイオマーカーや創薬標的の創出を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 末梢免疫系・腸内細菌叢と精神神経疾患の病態連関の解明</li> <li>2. 精神神経疾患に対する新規バイオマーカー・創薬標的の探索</li> <li>3. 臨床応用を目指したトランスレーショナルリサーチ</li> </ol>

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
生 体 情 報 檢 查 科 學 分 野	生体情報検査科学 特別研究  市野 直浩 竹松 弘 成瀬 寛之 鈴木 康司 毛利 彰宏 塙竈 和也 和知野 純一 杉本 恵子 山本 直樹 古関 竹直 石川 浩章 刑部 恵介 山本 康子 星 雅人 松浦 秀哲 國澤 和生 吉村 文 東本 祐紀	(吉村 文) いまだ有効な治療法が確立されていない疾患、治療満足度が低い医療ニーズ（アンメット・メディカル・ニーズ）に対して、疾患モデル動物を用いた病態の解明、候補薬剤の検証、ヒトゲノム解析で発見された発症リスク因子のマウスへの導入（新たな疾患モデル動物の開発）を行い、臨床に繋げることを目指す。 1. 腎臓疾患（糖尿病性腎症、多発性囊胞腎症等）に関わる研究 2. 心臓疾患（肥大型心筋症、拡張型心筋症等）に関わる研究  (東本 祐紀) 小児科領域におけるウイルス感染症に関する臨床研究/基礎研究を行う。特にヘルペスウイルス、ロタウイルスを中心に、分子生物学的手法を用いた解析、および迅速診断化/マルチプレックス化を目的とした新規検査法の開発を目指す。 1. 水痘ワクチン定期接種後の水痘帯状疱疹ウイルス免疫能の評価 2. 水痘帯状疱疹ウイルスおよびロタウイルスの分子疫学的解析 3. ロタウイルスワクチン接種児における腸管粘膜免疫誘導能向上のための最適な宿主環境の解明

分野	授業科目名及び担当者	特 別 研 究 の 内 容 及 び 研 究 テ イ マ
遺伝カウンセリング分野	遺伝カウンセリング 特別研究  大江 瑞恵	(概要) 医療者や一般人市民の遺伝や遺伝医療に関する問題点を抽出し、解決のためのエビデンスを蓄積し、社会へわかりやすく発信することで一般社会、医療への教育、啓蒙を行う。研究デザイン、倫理審査、調査、解析などの研究の一連を行うことにより、遺伝カウンセリング研究プロセスを習得することになる。その過程では、医療者や一般市民への効果的な発信方法や啓蒙活動の意義や重要性を学ぶ。修士研究によって、思考力と洞察力をもって認定遺伝カウンセラーに携わる資質を養う。  (大江 瑞恵) 1. 支援ロボットを使った患者支援の研究 2. 染色体構造異常の発生メカニズムの解析 3. 遺伝性疾患を抱える患者と家族の支援や社会支援体制に対する研
生殖補助医療分野	生殖補助医療 特別研究  西尾 永司 小林 達也	(概要) 日本産科婦人科学会の体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録施設（主として藤田医科大学病院、その他の協力不妊クリニック）において、ヒト配偶子、受精卵、胚の操作、培養液の作成、器具の準備、採卵室の施設管理と保守などを修得する。さらに、実際の胚培養士の職務を経験する過程で、生殖補助医療に対して高い倫理観と品位を養う。また、最近のトピックに关心を持つ。  (西尾 永司) 1. 基礎的アプローチによる生殖補助医療の改良に関する研究 2. 生殖補助医療に必須の知識と技術の習得 3. 生殖補助医療胚培養士、臨床エンブリオロジスト受験資格の修得(一部) 4. 症例の実施記録を論文形式にまとめて発表する  (小林 達也) 1. 新規胚培養技術・不妊症検査技術の開発とその実証試験 2. 胚盤胞の着床促進に着目した基礎および臨床研究 3. 細菌と生殖機能に関する基礎的検討 4. 不妊診療の臨床データを用いた後方視的検討 5. 再生医療を用いた高齢不妊症に対する新規治療法の開発

## 2) 医用量子科学領域

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
医用量子科学分野	<p>医用量子科学 特別研究</p> <p>小林 茂樹 南 一幸 高津 安男 笠井 聰 白川 誠士 椎葉 拓郎 武藤 晃一 小林 正尚</p>	<p>(概要) 医用量子科学特論および医用量子科学演習で得た新しい手法の展開あるいは知見をもとに研究を推進し、修士論文の作成を通じて研究のあり方を修得する。</p> <p>(小林 茂樹) フォトンカウンティング技術および人工知能を用いて、次世代の医療形態創造に貢献する研究を推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. エネルギー分解型フォトンカウンティング型X線検出器を用いた次世代マンモグラフィ開発に関する研究</li> <li>2. 次世代の病院形態を見据え人工知能を用いた診療効率改善に関する研究</li> </ul> <p>(南 一幸) 本研究室では、核医学領域における被ばく線量の測定とシミュレーションに関する研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 核医学領域における放射線被ばく評価法に関する研究</li> <li>2. 核医学領域における放射線防護措置に関する研究</li> <li>3. 放射線被ばくシミュレーションに関する研究</li> </ul> <p>(高津 安男) 磁気共鳴装置を用いて、生体システムに関与する検討を行う。画像の解析や評価から、撮像方法および臨床への適用を鑑みた、情報提供を目的とした研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. MRを使用した臨床画像の解析</li> <li>2. MRIにおける撮像方法の検討と臨床評価</li> </ul> <p>(笠井 聰) 医療領域で発生するデータを用いた人工知能（AI）に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 術前に撮影された脳MRI画像を用いてグリオーマの手術計画支援を行うAIの研究</li> <li>2. 胸部単純X線画像からAIを用いて形態的な異常を伴わない疾患を抽出する研究</li> <li>3. AIを用いた乳がんのリスク推定に関する研究</li> <li>4. 胎児心拍陣痛図をAIを用いて自動解析することで胎児の異常をモニタリングする研究</li> <li>5. AIの説明可能性および自然言語と医用画像を用いた生成AIに関する研究</li> </ul> <p>(白川 誠士) モンテカルロシミュレーションを通して、核医学画像に関連する物理過程を理解するとともに、画像再構成、各種補正法の研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. モンテカルロシミュレーション組み込み再構成法</li> <li>2. Deep Learningによる画像処理に関する研究</li> </ul> <p>(椎葉 拓郎) MRIや核医学といった分子イメージングの特性の理解はもとより、画像処理や機械学習、モンテカルロシミュレーション技術の習得により、さまざまな課題に対して柔軟に対応できる能力を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 神経変性疾患を対象としたMRIおよび核医学画像解析</li> <li>2. SPECT定量技術の評価に関する研究</li> <li>3. 核医学治療におけるモンテカルロシミュレーションを用いた線量評価に関する研究</li> </ul>

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
医用量子科学分野	医用量子科学特別研究 小林 茂樹 南 一幸 高津 安男 笠井 聰 白川 誠士 椎葉 拓郎 武藤 晃一 小林 正尚	(武藤 晃一) 放射線部門情報システムの構築から、DICOMなどの放射線医学領域に係わる情報の標準化など、医療情報学の放射線医学への応用、さらには電子化された巨大な医療データの管理と応用について研究する。 1. 医療情報分野の標準化とその利用に関する研究 2. 医療情報システム構築におけるOpen Source Softwareの活用に関する研究 3. 医療ビッグデータに対応するためのデータ管理とデータ処理に関する研究  (小林 正尚) X線診断領域における放射線防護・管理・計測学に関して主に研究する。臨床現場に有用な情報の提供や指標の提案、及び、近年ではデジタル教材の開発を手がけはじめている。 1. X線診断領域全般における線量測定・評価法の改善・提案に関する研究 2. モンテカルロシミュレーションを用いた線量評価法の開発に関する研究 3. 医療放射線利用の国際動向や制度の評価に関する研究 4. ヴァーチャル・リアリティ環境に用いるデジタル教材の開発に関する研究
医学物理学分野	医学物理学特別研究 浅田 恭生 林 直樹 松原 礼明 國友 博史 清水 秀年 安井 啓祐	(概要)医学物理学は、理工学的な側面から医療に貢献するための学問であり、安全な放射線の医学利用においては欠かせない学術分野である。本科目では、医学物理学を学ぶことの意義を理解するとともに、新しい手法の展開あるいは知見を得ることを目標として、医用放射線科学領域における物理学を中心とした研究を行い、修士論文の作成を通じて研究のあり方を習得する。  (浅田 恭生) 1. 診断領域X線、特にマンモグラフィによる患者線量の解析 2. 診断領域X線の線質および出力測定に関する研究 3. 診断領域X線における患者線量推定ソフトウェアの開発  (林 直樹) 1. 放射線治療における線量計測体系に関する研究 2. 放射線治療における医療安全評価法に関する研究 3. 高精度放射線治療における照射精度改善に向けた研究 4. 体表面監視法による新しい画像誘導法の構築に向けた研究  (松原 礼明) 1. 診療放射線が起因する、植込み型心臓デバイス等の精密機器の誤動作に関する研究 2. 原子核反応を利用した医学物理学的研究  (國友 博史) 1. 客観的画質評価法に関する研究 2. 単純X線撮影などにおける客観的画質特性に基づいた最適化の研究 3. マンモグラフィー（トモシンセシスも含む）における画質特性の研究 4. 動画像の画質特性に関する研究

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
医学物理学分野	医学物理学特別研究	(清水 秀年) <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 放射線治療における患者固定システムの開発</li> <li>2. 放射線治療装置の品質管理機器の開発</li> <li>3. 最新のエビデンスに適応した高精度放射線治療計画の最適化</li> <li>4. 放射線治療の効果と副作用に関する研究</li> </ol>
	浅田 恭生	(安井 啓祐) <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陽子線治療における線量計測の高精度化と標準化に関する研究</li> <li>2. 3Dプリンティング技術とゲル線量計を用いた高精度三次元放射線計測システムの開発</li> <li>3. 遺伝子放射線治療の実現に向けた細胞レベルでの放射線応答メカニズムの解明</li> <li>4. 治療計画システムにおける新技術の性能評価と臨床応用可能性の検証</li> </ol>
	林 直樹	
	松原 札明	
	國友 博史	
	清水 秀年	
	安井 啓祐	

### 3) 医用生体工学領域

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
医用生体工学分野	<p>医用生体工学特別研究            伊藤 弘康            三浦 康生            藤垣 英嗣            堀 秀生            北本 憲永            井平 勝            梅沢 栄三            服部 秀計            水谷 謙明            大橋 篤            平野 陽豊</p>	<p>(概要)動物や人体を対象とした先進的な検査技術や治療技術に関して、計測、制御、データ解析ならびに臨床応用などを研究対象とし、それらの新しい手法展開あるいは知見を得ることを目標とし、修士論文の作成を通じて研究活動を推進できる能力を養う。</p> <p>(伊藤 弘康)            免疫学的アプローチによる癌および慢性ウイルス感染症の病態解析と新規治療法の開発を小動物モデルを用いて行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>免疫チェックポイント分子をターゲットとした新規癌免疫療法の開発</li> <li>免疫チェックポイント分子をターゲットとした慢性ウイルス感染症に対する新規治療法の開発</li> </ol> <p>(三浦 康生)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>安全な輸血医療の開発</li> <li>最新の細胞治療の基盤開発</li> </ol> <p>(藤垣 英嗣)            アミノ酸や薬剤の代謝を標的とした診断薬の開発を行い、薬効予測や副作用予測による個別化医療への応用を目指す。また、代謝酵素阻害剤による精神疾患やがんなどに対する新規治療薬の開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>トリプトファン代謝酵素を標的とした精神疾患やがん治療薬・機能性食品等の開発</li> <li>メタボローム解析によるバイオマーカー探索と診断薬開発</li> </ol> <p>(堀 秀生)            1. 高分子材料粉体で活性化した間葉系間質細胞による腎臓再生療法に関する研究            2. 繊維材料と細胞との相互作用を活用した再生療法に関する研究            3. 血液透析の生体適合性に関する研究            4. モデル動物を利用した血液透析評価システムの開発</p> <p>(北本 憲永)            人工心肺の低充填化と血液希釈の影響を最小限にする技術をハード面と操作方法などから改善し、生体への影響を最小限にする研究。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>人工心肺の低充填化に関する研究</li> <li>灌流量や体温を正常に近い状態で管理を行うことの効果の研究</li> </ol> <p>(井平 勝)            主に等温遺伝子增幅法を利用した迅速診断法を中心に行っている。遺伝子チップを利用したmultiplex LAMP法やmicroRNAを新規バイオマーカとして利用するための新規遺伝子増幅法が主な研究テーマである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>心筋梗塞、心不全に関連する新規バイオマーカの探索と迅速診断法確立</li> <li>遺伝子チップを利用したmultiplex LAMP法</li> <li>ヘルペスウイルスまたはロタウイルスの自然歴に関する研究</li> </ol>

分野	授業科目名及び担当者	特別研究の内容及び研究テーマ
医用生体工学分野	<p>医用生体工学特別研究</p> <p>伊藤 弘康 三浦 康生 藤垣 英嗣 堀 秀生 北本 憲永 井平 勝 梅沢 栄三 服部 秀計 水谷 謙明 大橋 篤 平野 陽豊</p>	<p>(梅沢 栄三)</p> <p>生体内の水分子は拡散運動でランダムに動き回っている。拡散 MRI は拡散の統計的性質を利用して組織の微細構造・機能に関する情報を得ることができる。物理学、数学、数理データ科学を使って拡散MRIの研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 拡散 MRIに関する研究</li> <li>2. MRIの数理的基礎に関する研究、及びそれに基づく新しいMRI の画像法・解析法の研究</li> </ol> <p>(服部 秀計)</p> <p>放射線領域において医療情報を人工知能の有効活用をみすえた観点から以下の研究を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 胸部単純写真における深層学習を用いた病変の自動検出に関する研究</li> <li>2. 造影剤を使用時の安全性担保に関する研究</li> </ol> <p>(水谷 謙明)</p> <p>脳梗塞リハビリテーションによる麻痺回復と脳内分子機構の解明および薬剤併用療法の開発に関する研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. MRI を用いた脳内可塑性変化の解析</li> <li>2. プロテオーム解析による機能的分子の特定及び、麻痺回復分子機構の解明</li> <li>3. 薬剤療法の開発</li> </ol> <p>(大橋 篤)</p> <p>体外循環治療を受ける患者の血液成分は炎症反応に伴い過剰な酸化ストレス状況下にある。我々は、医療材料と血液の間に介在する生体適合性を酸化ストレスマーカーの分析を行い評価している。さらに、生体適合性を向上させる治療法の開発を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アフェレシス療法が生体に及ぼす影響に関する研究</li> <li>2. 体液成分の酸化還元状態が細胞に及ぼす影響に関する研究</li> </ol> <p>(平野 陽豊)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 低線量放射線による血管機能に及ぼす影響に関する研究</li> <li>2. 機械学習を用いた早期動脈硬化推定に関する研究</li> <li>3. 血管粘弾性を基にした刺激による自律神経応答に関する計測</li> </ol>

## 19. インターネット出願方法

### ① 出願手続き上の注意

①出願書類のうち、「出願理由書」、「就学承認書」、「出願書類チェックリスト」はインターネット出願ガイダンスの **出願書類** から印刷してください。

②出願登録上、一部の文字についてはエラーになる場合があります。

氏名や住所などの個人情報を入力する際に、文字が登録エラーになる場合は常用・当用漢数字を使用して入力してください。

例) 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) III→(算用数字) 3

(丸数字) ①→(括弧書き数字、全角数字) (1)

合格通知書等に記載される文字は、入力された常用・当用漢数字を用いますので、ご了承ください。

### ② インターネット出願の手順

#### ✓手順1 ➔ 事前準備

下記①～⑤を準備してください。

##### ①インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン、タブレット等

OSやブラウザは、最新の状態にアップデートしておいてください。

なお、「インターネット出願ガイダンス」ページで推奨環境を公開しています。

##### ②メールアドレス

常時利用しているメールアドレスを登録してください。

登録いただいたメールアドレス宛に、入試に関する諸通知が配信されます。

##### ③A4サイズの印刷が可能なプリンター

「出願確認票」や「宛名ラベル」等を印刷する際に必要となります。

学校・勤務先等のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービス等でも構いません。

##### ④「成績証明書」、「卒業（見込）証明書」等の出願書類

「成績証明書」、「卒業（見込）証明書」等は、準備に時間がかかりますので、時間に余裕をもって準備してください。

##### ⑤顔写真データ

1) スーツ着用、正面半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、脱帽、背景無地にて出願時から3か月以内に撮影した無加工・無修正のもの。

2) 縦横比=4:3の顔写真データが必要となりますので必ずアップロードしてください。  
自撮りは不可（出願時に登録された顔写真は原則学生証に使用します）。

3) データ形式はJPEG(jpeg-jpg)、画像の容量は3MB以内のもの。

#### ✓手順2 ➔ インターネット出願画面へアクセス（出願登録の開始）

藤田医科大学ホームページにアクセスし、医療科学研究科 医療科学専攻〈修士課程〉のページ（TOP > 学部・大学院 > 医療科学研究科（2024年度新設）> 入試情報）より、「大学院インターネット出願ガイダンス」のバナー（リンク）を押してください。

<https://www.fujita-hu.ac.jp/>

藤田医科大学

検索

## ✓手順3➡入試情報の入力

試験区分、選抜方法、領域、分野、指導教員等を入力してください。

## ✓手順4➡個人情報の入力

個人情報（氏名、生年月日、顔写真データ、住所、電話番号、メールアドレス、出身学校情報等）を入力してください。

- 顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

## ✓手順5➡入力内容の確認

入力した内容に間違いがないか確認してください。

登録後は、入力内容の変更はできません。

## ✓手順6➡入力内容の確認後、お支払い方法の選択

入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認し、入学検定料をお支払いください。

入学検定料の支払い方法には、次の3つがあり、個人情報の登録後に支払い方法を選択します。その後、代行会社ペイメント社の画面に遷移します。

- ①クレジットカード決済は、選択の登録を行うと同時に支払いが決定します。最後に、

**お支払い** のボタンを押してください。

本学の「インターネット出願」ではクレジットカード決済において、「3Dセキュア2.0（本人承認サービス）」を導入しています。クレジットカード決済を選択した場合、取引の不正利用検知・防止のために、登録した氏名、電話番号、インターネット利用環境に関する情報等をクレジットカード発行会社へ提供させていただきます。

なお、クレジットカード決済を選択する場合、事前にクレジットカード発行会社のサイトで「3Dセキュア2.0」の登録を行ってください。「3Dセキュア2.0」の詳細および登録方法は、クレジットカード発行会社にお問い合わせください。

※本人認証サービス3Dセキュア2.0とは、決済時にクレジットカード番号、有効期限等の情報を加え、お客さまがクレジットカード発行会社にあらかじめ登録したパスワードをご入力いただくことでカード会員さまご本人であることの認証を行うサービスです。

対象ブランド：Visa・Mastercard・JCB・Amex・Diners

- ②コンビニエンスストア、ペイジー（銀行ATM）による支払いは、代行会社ペイメント社の画面に、支払い時に必要な番号が表示されます。

番号は、必ずメモをとるか、画面を印刷してください。最後に、**購入したサイトへ戻る**のボタンを押してください。

- ③インターネットバンキングによる支払いは、登録完了画面から選択後、案内に従ってください。

注) 領収書（レシート）、取扱明細書兼領収書等は保管してください。

## ✓手順7➡登録完了・検定料の支払い

ここまで入力で、試験情報、個人情報の入力、検定料の支払いの受付は一旦完了です。

1. 「マイページログイン情報（ユーザID（メールアドレス）、パスワード、整理番号）」を必ずメモ、印刷してください。出願内容の確認、出願確認票・宛名ラベル等の再印刷に必要です。

2. 検定料の支払い方法でクレジットカード以外を選択した場合は、各（金融）機関で速やかに支払い手続きを済ませてください。

- お支払いの際、入学検定料を支払った整理番号の出願書類しか受理できません。修正等を理由に、新たに登録し直した場合は、整理番号に注意して検定料のお支払いや出願書類の提出等の手続きを進めてください。

手順8►出願書類の提出（直接持参、郵送）

1. 出願書類をA4サイズの用紙を使用してプリンターで印刷してください（出願書類についてはP.6～P.7「4. 出願手続」「4. 提出書類」を参照してください）。
2. 封筒（角形2号、240mm×332mm）のおもてに宛名ラベルを貼り付け、出願書類を封筒に入れ、大学院医療科学研究科入試係まで書留速達郵便で送付していただくか、直接持参してください（締切日必着）。

**③ 受験票の印刷**

手順1►インターネット出願画面へアクセス

- ②インターネット出願の手順の手順2と同様の手順で「インターネット出願ガイド」の画面にアクセスしてください。

手順2►ガイダンス画面の「マイページ」へログイン

- ①ガイダンス画面トップの **マイページ** ボタンを押してください。
- ②登録したID（メールアドレス）、パスワードを入力して、**ログイン** ボタンを押してください。

手順3►受験票の印刷

- 申し込み一覧の各種確認から **受験票** ボタンを押し、表示される受験票を印刷してください（大学から郵送することはありません）。
- 印刷した受験票は、受験及び入学手続の際に必要になるため、各自大切に保管してください。

## 20. 受験者注意事項

- 受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
- 試験開始後20分以上遅刻した者は試験室に入ることはできません。
- 試験時間中机の上に置けるものは、受験票、英語辞書（電子辞書は除く）、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、眼鏡、ハンカチ、目薬、時計（計算・辞書機能等がついている多機能時計を除いた、時計機能のみの腕時計及び小型の卓上時計）、ティッシュペーパー（袋から中身だけを取り出したもの）です。これ以外は認めません。（多機能時計、スマートフォン、スマートグラス、携帯電話、音の出る機器、イヤホン、耳栓、下敷き、ペンケース、定規類、シャープペンシルの芯ケースの使用は認めません。）
- 試験会場では、スマートフォン及び携帯電話は、電源を切ってカバンの中に入れてください。
  - （試験時間中、スマートフォン、スマートグラスや携帯電話等の電子機器類を使用した場合は、不正行為と見なします。また、身につけていたり手元にあった場合、使用の有無にかかわらず不正行為となることがありますので、注意してください。）
- 受験当日は、昼食を持参してください。
- 会場によっては時計が設置されていない場合がありますので、ご自身で時計を持参してください。（多機能のもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは認めません。）
- 試験室の入室は8時45分から可能です。
- 試験会場の下見については、建物内への立ち入りはできません。会場までの交通機関、道順、所要時間、建物の位置の確認に留めてください。
- 急な病気等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、事前に連絡してください。  
身体上の障がいや疾病により、受験・修学に際し特別措置を希望する場合は、事前相談が必要です。出願締切日の2週間前までに大学院医療科学研究科入試係まで申請してください。
- 試験当日は原則、公共交通機関を利用して下さい。その際、降雪等による交通機関への影響などに留意し、遅刻しないように十分注意してください。
- 試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。

### 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症にかかった場合の対応等について

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として入学検定料の返還は行いません。
- なお、感染症の感染状況によっては記載されている試験内容と異なる方法で選抜を実施することがあります。変更が生じた場合は本学のホームページにて随時公表いたします。

## 21. 入試に関する個人成績の開示について

入学試験（学力試験）の個人成績について、受験生本人（不合格者に限る）から申請があつた場合に限り、次の要領で開示します。

### 1) 開示内容

学力試験（科目別）の得点、平均点

### 2) 申請期間

2026年5月1日（金）～2026年5月14日（木）申請期間内の消印があるものに限り受け付けます。なお、開示は2026年6月8日（月）からとします。

### 3) 申請書類

- (1) 学力試験個人成績開示申請書（本研究科ホームページよりダウンロード）
- (2) 受験票（コピー不可）
- (3) 返信用封筒

宛名を明記した**定形封筒**（サイズ120mm×235mm）に切手460円分を貼付してください。  
簡易書留にて返信します。

### 4) 申請先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

藤田医科大学大学院 医療科学研究科 入試成績開示係（大学3号館1階）

（注）申請に際して、受験票は本人確認として必要になりますので、大切に保管してください。

受験票は成績に同封して返却いたします。なお、受験票を紛失した場合は如何なる理由でも開示しません。

## 22. 個人情報保護について

個人情報の保護に関して、藤田医科大学大学院医療科学研究科では次のとおり扱います。

### 1) 利用目的

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、次に掲げる目的のみに利用します。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続等、入学までの一連の業務を行うため
- (2) その他、本大学院の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため

### 2) 第三者への個人情報の提供について

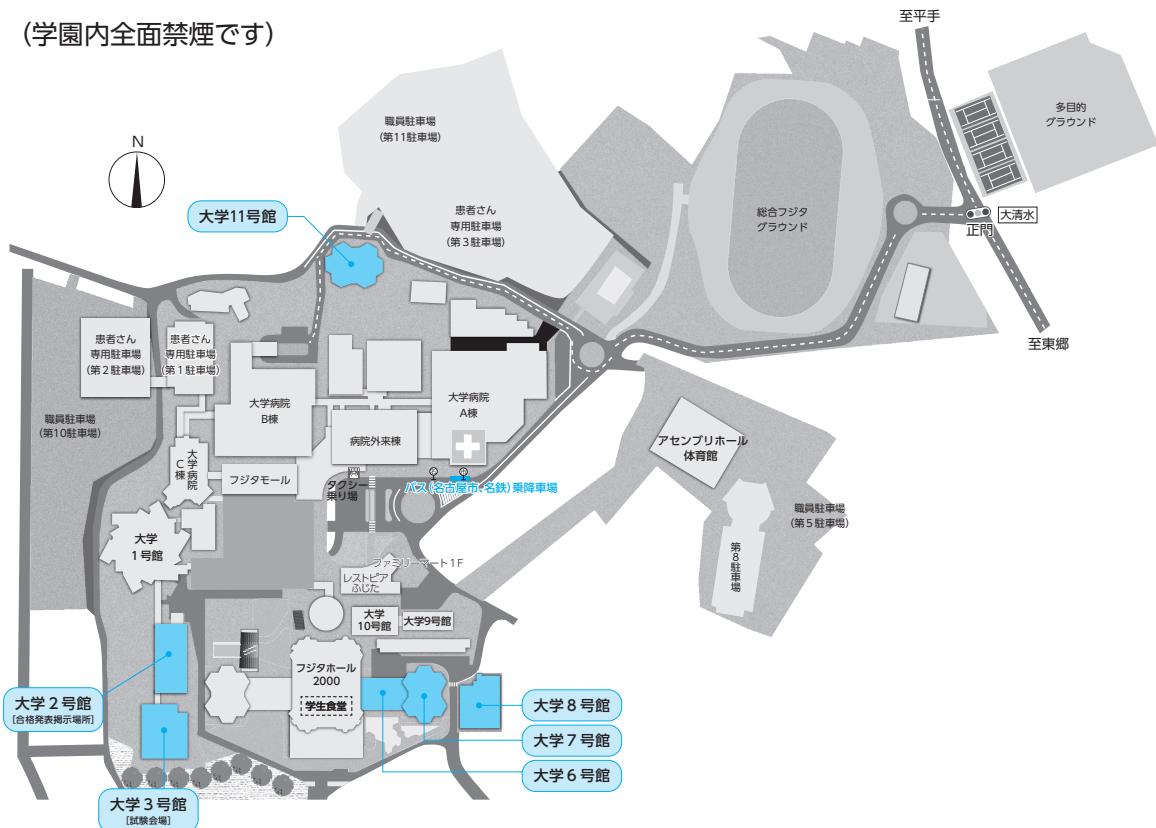
個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとします。

- (1) 本学大学院医療科学研究科入学者について、名簿作成及び各種連絡通知等に使用する  
ために藤田学園の同窓会等に提供する場合
- (2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合
- (3) クレジットカード発行会社が行う不正利用検知・防止のために、氏名、電話番号、  
emailアドレス、インターネット利用環境に関する情報等を、クレジットカード発行会  
社へ提供する場合（利用されているカード発行会社が外国にある場合、これらの情報は  
当該発行会社が所属する国に移転される場合があります）

## 23. 試験会場地図

試験会場：本学 大学3号館

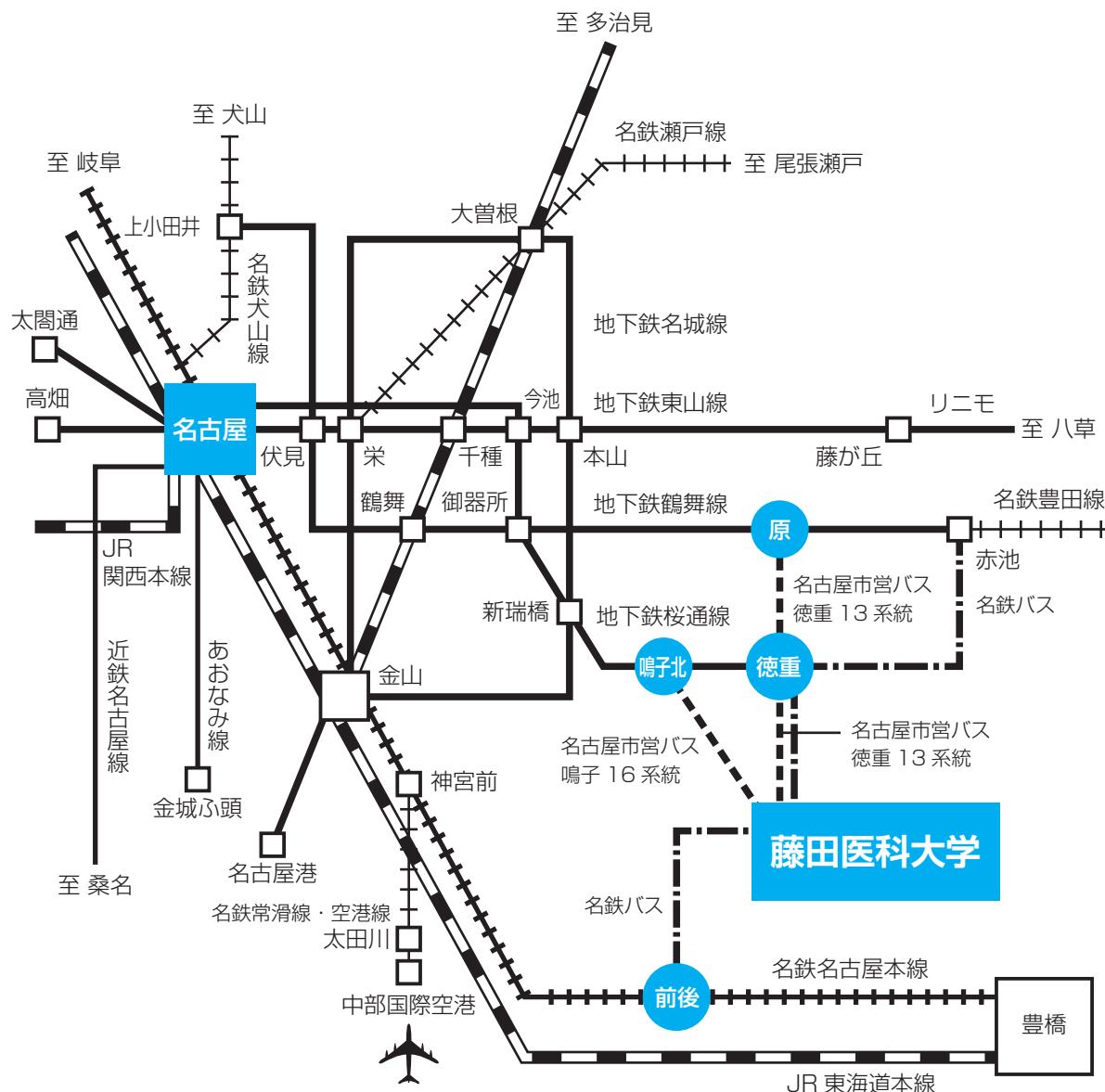
(学園内全面禁煙です)



試験当日は、会場案内に従って、指定の校舎で受験してください。

- 試験当日は、学内が混雑しますので公共交通機関でお越しください。  
学内には受験生用駐車場はありません。

**公共交通機関でお越しの方は**



**FUJITA HEALTH UNIVERSITY  
GRADUATE SCHOOL OF  
MEDICAL SCIENCES**

**2026**



**藤田医科大学大学院医療科学研究所**  
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98  
入試係 TEL:0562-93-2504 FAX:0562-93-4595  
(土曜・日曜・祝日・開学記念日(10/10)など学内休日・年末年始(12/29~1/3)は受け付けていません)